

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		令和 7 年 11 月 19 日	
ブルーミングキッズ こはる					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	プログラムによっては手狭に感じることもあるが、整理整頓をしたりスペースを確保し、その他戸外活動を取り入れたりしている。 子供たちの成長や車椅子の利用児も参加出来るスペースが足りないと感じる事がある。 子どもたちがクールダウンできるスペース等の確保ができるとより支援しやすい環境になると思う。	工夫しスペースを確保しながら支援していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	急な休み等により困難な場面もある為、安定した配置を望む	必要に応じて求人を出していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	借地のためハード面の限界はあるが、ソフト面で障害の特性を配慮、工夫している。 歩行が難しい児童のトイレや歩行時等に不安を感じる。	限られたスペースなので工夫しながら支援していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清潔が保てるよう、環境整備を年間通して実施している。 支援終了後、除菌を場所に合わせた方法で行っている。 子供たちが帰宅した後に毎日、掃除を実施し清潔を保つよう心掛けている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		集中したい、クールダウンが必要な際に別室を使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表を参考にし会議で話し合い、改善、工夫を試みている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	外部評価されているか分からない 外部との関わり、評価されているか分からない 実施していない	今後、検討予定。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内部での研修は取り組んでいる	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		作成し、法人のHP上で公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		担当者が決まっているが、相談しながら立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節に応じたプログラム提供に努めている 季節、行事に応じたプログラム作りをしている 月ごとに活動内容を話し合って工夫している 利用児が楽しんで取り組めるものや季節に応じたプログラムを立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別課題と小集団行動を取り入れ、利用児たちに応じた計画を作成し支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		ミーティングという形で情報を共有し、支援内容の共通認識を図っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		送迎終了後に共有している 翌日出勤後ミーティングを実施し、当日休みの職員への伝達も実施している ミーティングという形で情報を共有し、支援内容の共通認識を図っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		自宅、学校での様子も含めて記録し、日々の療育に活かしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		今後更に自己決定の機会が必要になってくるため、機会を増やしていく必要がある	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		サービス担当者会議自体が少ないが、実施の際は参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	地域交流できていない 地域連携については整備検討中	地域連携については整備検討中。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者、学校とも連絡や確認をし、連絡調整にあたっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	相談員を通して共有している 保護者を通じて、就学前の様子の聞き取りを行い、書類等で情報の共有を図っている 必要に応じて	相談員と保護者を通じて、就学前の様子の聞き取りを行い、書類等で情報の共有を図っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要に応じて情報を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	必要に応じて対応する	必要に応じて対応する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	実施していない	障害特性により大人数集まる所や初めていく場所が苦手な児も利用しているため機会があれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	機会があれば参加していく予定	機会があれば参加していく予定
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に伝わりやすい適切な言葉でその日の出来事を共有している 連絡帳や口頭にて様子を伝えた際に、状況や課題についても併せて伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	研修制度については、要望がないため実施していないが、療育中に試したことや成功したことをお話しし、自宅でも実践してほしい旨を伝えている 家族参加の出来るイベントなどを実施する（可能な範囲） 機会があれば	機会があればご家族様が参加できる研修を実施していく。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約締結時に運営規定、重要事項説明書、代理受領、負担額などについて丁寧に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		普段からの聞き取りを活かし、サービス提供に活かしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		都度相談に応じて	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	現在要望がないため実施していないが、機会があれば実施していきたいと思う 保護者懇談会などを実施する	現在要望がないため実施していないが機会があれば実施していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情担当者を中心に話し合い、早期解決と再発防止に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報を記載した書類は必ず鍵のできる書庫に保管しており、職員には個人情報保護に対応する契約書を提供してもらっている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		言語以外のコミュニケーションシールも活用し配慮している	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	実施していない 地域と関わる機会を増やす 招待する機会は設けていないが、地域の方が訪問された際には利用児との交流が図れるよう努めている	機会があれば地域住民と関わる機会を設ける。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを作成し、利用児が訓練や研修に参加した際には別紙や連絡帳、口頭にて保護者へ伝えている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		上記に同じ	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		内服内容が変更した際に薬情の提出依頼をし確認をしている 処方箋内容が変更になった時、年度初めには確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対象児が利用の場合は実施するが、現在対象児無し 保護者へ確認し対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		年間計画を設定し、研修や訓練に加えて備品の確認なども行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		必ず記録、ファイリングをし、職員へはいつでも目を通せるようにしている 事象の大小に関わらず、都度話し合いの場を設けている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会として研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在、該当する利用児はいないが、やむを得ず決定した際には必ず事前説明、了解を得た上で計画に記載し、日頃の様子も記録していく	